



篠岡学区 広域防災訓練テキスト配布について

2021年1月17日(日)10時～篠岡小学校体育館で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で【防災訓練】を中止致しました。

今回は、区民のみなさんからより多く参加していただき開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、篠岡学区の自主防災会、婦人消防クラブから代表者数名の参加をいただき、**【新型コロナウイルスを踏まえた避難所運営について】【新型コロナウイルス禍 巨大地震が起きた時の備えについて】**を動画と講話による訓練を予定しておりました。

- その内容を出来るだけ多くの区民のみなさんへお届けしたいと思いテキストを篠岡学区全戸に配布させて頂くことに致しました。
- 避難所の収容人員、受付、レイアウト、物資配布、トイレ対策、ごみ処理、消毒、健康管理など！
- 篠岡学区の指定避難所の収容人員、備蓄品、防火水槽状況などの現状を小牧市の基礎資料をもとに地域協議会で編集し、数値化しました。
- このことから、新型コロナウイルス禍では、今まで想定していた【避難所運営のあり方】【在宅避難への備え】を大きく見直すことが重要となります。**

篠岡学区地域協議会ホームページで訓練動画が見れるようになっておりますので
ご覧いただき、みなさんにご家族をお守りする情報として、お役に立てて頂ければ幸いです。是非、有効活用して下さい。



感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

